

平成 28 年度 第 1 回 スーパービジョン研修 報告書

1. 概要

事例を基にライブスーパービジョンから実践を学ぶ (第 1 回)

2. 研修内容

研修名 スーパービジョン研修 (第 1 回)
日 時 平成 29 年 2 月 18 日 土曜日 午前 9 時 00 分から午後 1 時 00 分
場 所 八王子市役所 本庁舎 8 階 801・802 会議室
講 師 認知症介護研究・研修東京センター 副センター長 佐藤 信人 氏
参加者 高齢者あんしん相談センター職員 8 名 (6 事業所) 居宅職員 38 名 (30 事業所) 合計 46 名

3. 参加者アンケート調査 結果 (回収数 38 名)

(1) 研修会全体の内容はいかがでしたか

項 目	回 答	率
① 満足	19 名	50.0%
② やや満足	18 名	47.4%
③ やや不満	0 名	0%
④ 不満	0 名	0%
無記載	1 名	2.6%

(2) 資料はわかりやすかったですか

項 目	回 答	率
① わかりやすかった	26 名	68.4%
② ややわかりやすかった	10 名	26.3%
③ ややわかりにくかった	1 名	2.6%
④ わかりにくかった	0 名	0%
無記載	1 名	2.6%

「① わかりやすかった」を選んだ理由

- ・ アセスメントが良くできていた。
- ・ アセスメント・チェック・シートが参考になった。アセスメントは不足していると思った。

- ・ 基本情報シートとアセスメント・チェック・シートの情報がしっかりと書かれていたので、とてもわかりやすかったです。
- ・ 居宅サービス計画書(2)の中に書いてある具体的な内容をもう少し掘り下げて話をしたいなと思った。
- ・ 資料に記載されていないところは説明で補っていただけたので問題なかったです。
- ・ 事例がシンプルでわかりやすかった。
- ・ 事例提供者が気づいたポイントはここかな？と思えた場を少し感じとりたかったが、どうだったのだろうか。バイジューの体験をしたいと思います。
- ・ シンプルで良かったと思います。
- ・ スーパーバイジュー、スーパーバイザーの中で具体的に気づきを見つけることができる。スーパーバイザーとしてもっと力をつけていく必要を感じる。
- ・ プラン上困っていない中、これでも良いのかという課題は難しかったです。
- ・ よくアセスメントできている。

(3) 講義内容について理解できましたか

項 目	回 答	率
① 理解できた	17名	44.7%
② だいたい理解できた	21名	55.3%
③ あまり理解できなかった	0名	0%
④ 理解できなかった	0名	0%
無記載	0名	0%

「① 理解できた」を選んだ理由

- ・ 当たり前ですが、先生のコメントがとても的を得ていて、こういうふうなアドバイスができるようなスーパーバイザーになれたらと思いました。
- ・ 客観的に見ることができとても勉強になった。
- ・ 自分の利用者に対してどのようにどの視点で聴きこんでいるのか、今後どう聴き込こむのか、自分への啓発になりました。予後予測 の視点が必要。この事例提供者も感じられたと思います。嫌われたくないケアマネの姿を感じました。
- ・ 進め方をしっかり学びたいと思った。自主研修をやってみたいと思っています。
- ・ どんな質問、声かけをしていいのかがよくわかりました。困りごと、ニーズ、長期目標、サービス内容など。指示的な機能がよく表れていたと思います。
- ・ バイジュー、バイザーのやり取りの中から、家族の中のこともアセスメントすることの難しさがわかりました。
- ・ 夫婦の今後を考えさせられました。プランも「今」「今後」がイメージできて学べました。
- ・ 振り返りをしっかり行うことによって力をつけることができる。
- ・ ゆっくりゆっくりした佐藤先生のテンポはわかりやすく、勉強になりました。問題困りごとへのアプローチ、導きをもう少しスムーズにできるようにしていきたい、向上していけるようにと思いました。

「② だいたい理解できた」を選んだ理由

- ・ ○○であろうと既に思っていることもひとつずつ確認することで思いを再確認していることがわかりました。
- ・ ①アセスメント・チェック・シートの記入方法の確認(学び直し)②病気や障害によっては受容へのサポートや自立支援としてのライフデザインのサポートの必要性とその難しさ等に多くの学びを得ました。ありがとうございました。
- ・ アセスメント力の大切さがわかった。何をどうしてやっていくか。タイミング、言い方、聞き方にも気をつける。
- ・ 同じ2号被保険者のケースを持っており、同じ悩みを持っていたので参考になった。
- ・ ケアマネが困っていないので、今回はケアプランの確認だったのか疑問に思った。4時間は長い。
- ・ 佐藤先生と内倉ケアマネジャーとのやり取りで、バイザーの導き方が少しわかったような気がします。
- ・ スーパーバイザーがすべき役割の説明が先生からあった。
- ・ スーパービジョンの意味、機能、目的、進め方について具体的にわかりやすく理解できた。スーパーバイザーとしてスーパーバイザーの気づきを与えていく過程を実際に見ることができ、学ぶことができた。
- ・ スーパービジョンは精神的にも大変。時間もかかることがよくわかる。やはり難しい。
- ・ スーパーバイザーの気持ちがわかった。
- ・ 先生がバイザーに対して気づいてもらえるように言葉を選んでいるのはよくわかりました。スーパービジョン研修として最後にどのような形か示してもらえるように、タイムテーブルのフローチャートや簡単なプリントがあればいいなと思いました。
- ・ 長い時間のやり取りの中で、少しずつケアマネからの新たな発言が引き出されていく過程を見ることができ、いかに適切な質問をしていくのが重要であると思った。
- ・ 本人の本音を聞き出すことの大変さと大切さを改めて理解できた。将来的な生活プランに対する不安などに着目する視点を見つめていく必要があると感じた。
- ・ ライブ式のスーパービジョンは初めての体験でした。スーパーバイザーとバイザーのやり取りがよくわかった。先生の思い、考え方の方向性も理解できた。(いろいろな考え方があることがわかった)

(4) 先生に伺いたいことがありましたらお書きください

- ・ ありがとうございました。2号被保険者が世の中にたくさんおられ、介護保険のみのサービスでは限界を感じています。要介護でも社会参加ができる仕組み(社会資源)が増えるといいと思います。(少しずつ増えていますが、量が足りない)
- ・ 今回のライブスーパービジョンの中で、バイザーのひっかけりや提出理由について先に提示しないで、バイザーの質問の中で気づいていく手順は、バイザーのテクニックが大きいと思います。テーマがどこにあるのか、バイザーの悩みの解決の方向性が見えづらいつ感じました。
- ・ 自立心は自分達が作り出すもので、決してケアマネが押し付けるものではないという先生の話聞き、無理なく話を導き出す方法を知りたいと思いました。
- ・ スーパービジョンはやはり難しいです。機会を作り続けることが難しいですが、自主的にも検討会を開いた時に先生は来てくれますか？
- ・ 先生の講義の中で、いろいろな方向から利用者の自立に向けて対応する必要があると学びました。

- ・ 総合事業のプランについて八王子ガイドラインを読んで実際に疑問点ができた時に、是非教えていただきたいと思います。
- ・ チェックシート右側の ADL の箇所立位、立ち上がり記入するところが無いのには、何か理由があるのでしょうか？
- ・ どの位の時間が必要なのでしょう？1 対 1、グループスーパーバイザー、ライブスーパーバイザーについても適切な時間を知りたいと思いました。
- ・ 本人のどこまで知らないとならないのか。基本情報以外の心の問題、そこまで踏み込む権利があるのか？

(5) その他ご自由にお書きください

- ・ ありがとうございました。
- ・ 今は実務から離れているのでいい勉強の機会になりました。機会があったらスーパーバイザー役をやってみたいし、ケースを担当し一緒に考えていきたいと思いました。
- ・ 内倉さん、スーパーバイザーの皆様お疲れ様でした。ありがとうございました。取り上げていただいた事例がとても良かったです。内倉さんのこのままでいいのか？の気づきが素晴らしいと思いました。
- ・ 内倉さん、素晴らしいかと思います。何かモヤモヤするという時がスーパービジョンの受け時なのかと思い、良いタイミングで良いバイザーに巡り合うことができるととても幸せなことなのだと思います。
- ・ 具体的な事例でアセスメント・チェック・シートからケアプラン表へ落とし込む研修を何度か受けたいと思います。今の市で行っている研修の更なる具体的なものがあればと思います。
- ・ 時間が足りないくらいに感じました。
- ・ スーパービジョンの目的、スーパーバイザーにいかにかたくさんのお土産をもたらすか、その気づきの瞬間をライブで見ることができた。気づきを与える為のスーパーバイザーのコミュニケーション技術(?)は難しいと思った。事例の解決策に主眼が行ってしまう自分に気づいた。
- ・ 少し時間が長かったように思います
- ・ そうだと思いますとの返事の度に私も聴き込めてないな、聞き込みアセスメントが出来ていない、想像なのか本人の言葉なのか、知り得ていないと気づきました。その方のエンパワメント。ケアマネはどこまで感じられるかが大切。
- ・ 途中長いなあと感じました。スーパービジョン研修なので当然ですが。先生の思いは感じますが、なかなか気づきにつながらないように思いました。スーパーバイザーの相談(困っていること)への適切なアドバイスも聞けたので良かったと思いました。今後実務に活かしていきたいと思います。
- ・ 勉強になりましたが、10年後のことまで考えてプランを考える必要があるのか。ライフプランは当人達のものだし、そこまで…という気もしました。しかし最後の今日のうちから考えておくことも大事という先生の言葉、またタイミングということが心に残りました。
- ・ 予測しながら将来に対する不安にも注目していければいいと思った。具体的な楽しい目標を共有できるように話をしていく大切さを感じた。
- ・ 利用者との関わりの中で、サービスが安定していくとケアマネ自身が安心してしまいがちですが、バイザーの質問を通して継続的な情報収集が必要だと感じました。
- ・ 利用者のプライバシーを聞くのはなかなか難しい。金銭の事など。

